

教科 Subject	外国語		科目 Course	コミュニケーション英語Ⅰ (Ⅰ類・Ⅱ類)	学年 Grade	4	単位数 Credits	4
教科書 Textbook	LANDMARK Fit コミュニケーション英語Ⅰ (啓林館)			副教材Additional Text /materials	準拠ワークブック・音声CD (啓林館)、新エメタン0 (アルク)、アトラス総合英語 (桐原書店)、アトラス総合英語 English Grammar Navigator in 27 Lessons (桐原書店)			
科目の目標 Course Objectives			(教科書) 様々なトピックについて自己の意見を持ち、それを英語で他者に伝えることができる。 (アトラス) 高校文法を通じて英語の構造を理解し、自己の意見を英語で書いて表現できる。					
評価の基準 Assessment Standards			定期試験50%、パフォーマンステスト20%、単語テスト・小テスト10%、平常点(態度・提出物等) 20%で評価する					
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~		
1 学期	4	1	Preparatory Lesson			血液型と性格の相関について、国内外の考え方を理解し、自分の意見を英語で表現できる。		
		2	教: Lesson 1 What Can Blood Type Tell Us?					
		3						
	5	4	教: Lesson 2 Curry Travels around the World			カレーが日本に伝わった歴史を理解し、世界の食文化に対して興味関心を抱くことができる。		
		5						
6	7	6	教: Lesson 3 School uniforms			学校制服という独特な文化・慣習について理解し、着用する意義について自分なりの意見を持つことができる。		
		8						
	9	Sound Practice						
7	10							
2 学期	9	11	教: Lesson 4 Gorillas and Humans			ゴリラの生態を理解するとともに、人間の生産活動によりその生態が脅かされていることを理解する。【SGH】		
		12						
		13	教: Lesson 5 "gr8" or great?					
	10	14				電子メールやSNSで用いられている特殊な言語に触れ、その成り立ちを理解するとともに、若者の言語観について自分の意見を持つことができる。		
		15	教: Lesson 6 Biodiesel Adventure					
	11	16	環境問題を意識するためのユニークな取り組みを知り、周生さんの目的を理解した上で、環境改善へのアイデアを持つことができる。			屋久島と世界のエコツアーを比較し、各国の環境課題に意識を持つことができる。【SGH】		
		17	Sound Practice					
		18	教: Lesson 7 Eco-tour on Yakushima					
12	19							
3 学期	1	20	教: Lesson 8 Mariko Nagai, Super Interpreter			単純に言語を翻訳するのではなく、コミュニケーションとして"通訳"を行う意図を理解し、自己のコミュニケーション観を見直すことができる。		
		21						
		22	教: Lesson 9 Space Elevator					
	2	23	先端科学技術を知り、人々の生活が豊かになることと技術革新の必要性を相関して捉えることができる			4つの事例を通して、人間は1人では決して生きていけないことを理解し、他者と調和・共存する必要性を説明することができる。【SGH】		
		24	教: Lesson 10 Friendship over Time					
	3	25						

履修者へのメッセージ Message for Students

高校課程での英語学習が始まりました。コミュニケーションの4技能(Reading・Writing・Listening・Speaking)習得は、スポーツの基礎練習に似ています。日々体を動かし、何度も基礎練習を繰り返すことで技術が向上していくのと同じように、英語も「毎日使う」ことが必須となります。残念ながら、これを読む多くの皆さんは、日常的に英語が必要な環境には置かれていないと思います。これは「自発的に英語を毎日使う」という強い意思が求められるということです。本授業では、皆さんが毎日英語を使う際の使い方を教えていきます。授業で身につけた使い方を、授業の外で毎日反復しましょう。

教科 Subject	外国語		科目 Course	コミュニケーション英語Ⅱ (Ⅰ類・Ⅱ類)	学年 Grade	5	単位数 Credits	5	
教科書 Textbook	LANDMARK Fit コミュニケーション英語Ⅱ (啓林館)			副教材Additional Text /materials	準拠ワークブック・音声CD (啓林館)、新ユメタン1 (アルク)、スクランブル英文法・語法 Basic (旺文社)、FOREST総合英語 (桐原書店)				
科目の目標 Course Objectives			英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。						
評価の基準 Assessment Standards			定期試験50%、パフォーマンステスト20%、単語テスト・小テスト10%、平常点 (態度・提出物等) 20%で評価する						
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~			
1 学期	4	1	Lesson1.			・車いすテニス選手の国枝慎吾について、彼が精神を鍛えるために行ったことや、プロ車いすテニス選手になった理由を理解することができる。			
		2	I'm in the Strongest!						
		3							
	5	4	Lesson.2			・新幹線の清掃員が7分間でを行う内容と、なぜ彼らが評価されているかについて理解することができる。			
		5	Tokyo's Seven-minute Miracle						
6	7	7	Lesson.3			・セントバーナード犬の救助犬としての歴史を理解し、舞台となるスイスでの出来事について自分の意見を伝えることができる。			
		8	Saint Bernard Dogs						
		9							
7	11	10	Lesson.4			・IT業界とファッション業界、それぞれの革新者について理解し、シャネルが社会に与えた影響について自分の意見を他者と交換することができる。			
		11	Chanel's Style						
2 学期	9	13	Lesson.5			・恋愛に関わる科学的相関 (幼少期の記憶、遺伝子など)を理解し、他者の恋愛観と自己の意見を比較することができる。			
		14	Science of Love						
		15							
		16							
	10	17	17	Lesson.6			・ガウディの生涯と、彼の死後にサグラダ・ファミリアの彫刻家となった外尾氏の考え方を理解することができる。		
			18	Gaudi and His Messenger					
			19						
			20						
	11	21	21	Lesson.7			・硫黄島をめぐる手紙の書き手である栗林氏と、硫黄島について理解することができる。		
			22	Letters from a Battlefield					
			23						
			24	Lesson.8					
12	25	Edo: A Sustainable Society			・持続可能な社会とはどのようなものかを理解できる。				
		26							
3 学期	1	27	Lesson.9			・AIと、その特徴である「ディープラーニング」について理解することができる。			
		28	AI and Our Future						
		29							
	2	30	Lesson.10			・AIの潜在的な危険性について理解することができる。			
			31	Bhutan: A Happy Country					
			32						
			33						
	3	34	Reading:			・幸福について、自己の意見を持ち、他者に伝えることができる。【SGH】			
			35	The Fall of Freddie the Leaf					
			・物語の結末が"The Beginning"で終わる意味について他者と議論することができる。						

履修者へのメッセージ Message for Students

本授業では言語活動として以下の4点を重視して授業展開を行います。①事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えを理解したり、概要や要点を捉える。②説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。③聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換を行う。④聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に自己の意見を書くことができる。

教科 Subject	外国語		科目 Course	英語演習	学年 Grade	5	単位数 Credits	3
教科書 Textbook	表現のための基礎英語構文ノート86 (桐原書店)			副教材Additional Text /materials	総合英語FOREST (桐原書店)、スクランブル英文法・語法 Basic (旺文社)			
科目の目標 Course Objectives			<ul style="list-style-type: none"> ・英語の4技能を理解して、活用できるようになる。 ・高校英文法を理解して、入試レベルまで理解する。 					
評価の基準 Assessment Standards			定期試験70%、単語テスト・小テスト10%、平常点(態度・提出物等)20%で評価する					
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~		
1 学期	4	1	授業展開のガイダンス			【Unit 1 Itを含む構文】 itを含む構文の仕組みを理解し、表現とすることができる。		
		2	Unit1-1、1-2			【Unit 2 不定詞を含む構文】 不定詞を含む構文の仕組みを理解し、英語表現の中で正しく使えるようになる。		
		3	Unit1の復習、Unit2-1			【Unit 3 動名詞を含む構文】 動名詞を理解し、正しく英文で表現できるようになる。		
	5	4	Unit2-2、2-3			【Unit 4 分詞を含む構文】 分詞構文を使って自分で表現できるようになる。		
		5	Unit2の復習、Unit3-1			【Unit 5 関係詞を含む構文①】 関係代名詞の基本的な用法を理解し、英語表現の中で正しく使えるようになる。		
		6	Unit3-2、Unit3-3					
	6	7	中間試験復習					
		8	Unit4-1、Unit4-2					
		9	Unit5-1、Unit5-2					
	7	10	期末試験復習					
		11	国際理解研修					
		12						
2 学期	9	13	Unit5-3、5-4			【Unit 5 関係詞を含む構文②】 関係副詞の基本的な用法を理解し、使うことができる。		
		14	Unit5の復習、Unit6-1			【Unit 6 否定構文】 否定構文の仕組みを理解し、表現とすることができる。		
		15	Unit6-2、Unit6の復習			【Unit 7 助動詞を含む構文】 助動詞を理解し、正しく英文で表現できるようになる。		
	10	16	Unit7-1			【Unit 8 条件構文】 条件を含む構文の仕組みを理解し、英語表現の中で正しく使えるようになる。		
		17	Unit7-2、Unit7の復習			【Unit 9 接続詞を含む構文】 接続詞の基本的な用法を理解し、英文として正しく表現できるようになる。		
		18	中間試験復習			【Unit 10 譲歩】 譲歩の構文を使って自分で表現できるようになる。		
	11	19	Unit8-1、Unit8-2					
		20	Unit8-3、Unit8の復習					
		21	Unit9-1、Unit9-2					
	12	22	Unit9-3、Unit9の復習					
		23	Unit10-1、Unit10の復習					
		24	Unit8~10の総復習					
12	25	期末試験復習						
	26	期末試験						
3 学期	1	27	Unit11-1、11-2			【Unit 11 比較構文】 比較構文の仕組みを理解し、表現とすることができる。		
		28	Unit11-3、Unit11の復習			【Unit 12 否定構文】 さまざまな表現を理解し、自分の考えを英語を用いて表現できるようになる。		
		29	Unit12-1、12-2			【入試対策】 今まで学んだ構文の基礎を大学の過去問等を解きながら入試レベルまで引き上げてます。		
	2	30	Unit12の復習					
		31	入試対策					
		32	入試対策					
	3	33	学年末試験復習					
		34	学年末試験					
		35						

履修者へのメッセージ Message for Students

英語演習の授業では、今まで学んだ英文法の基礎を確認・活用し、英語で表現する方法を学んでいきます。それを4技能全てで吸収して、構文を使いこなせるようになることが大学入試では必要です。受験にフライングはありません。5年生からしっかりと大学受験を意識して取り組める人が2年後に良い結果を導き出せるようになります。また、それぞれのUnitの復習は「ディクテーション・ノート」を使って行います。

教科 Subject	外国語		科目 Course	コミュニケーション英語Ⅲ (Ⅰ類・Ⅱ類)	学年 Grade	6	単位数 Credits	6
教科書 Textbook	BIG DIPPER English Communication Ⅲ (数研出版)			副教材Additional Text /materials	準拠ワーク・音声CD (数研出版)、英文法 [完全] 演習Power Frame 850 (桐原書店)、総合英語FOREST (桐原書店)、新ユメタン1 (アルク)、スク ランブル英文法・語法 Basic (旺文社)			
科目の目標 Course Objectives			自分の未来を豊かにするために、英語コミュニケーション力をスキルとして獲得し、授業で扱う事柄に対して自己の主張を持つことができる。					
評価の基準 Assessment Standards			定期試験70%、単語テスト・小テスト10%、平常点 (態度・提出物等) 20%で評価する					
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~		
1 学期	4	1	①Mile High			【Section Ⅰ】 190wordsほどの文章を数多く読むことで、以下の分野に関して「情報を素早く正確に読み取る力」を身につけることができる。 ＜取扱分野＞ 歴史・科学技術・スポーツ・英文ウェブサイト・自然・生物・異文化理解・旅行ガイドブック・人生観・自然環境・動物・社会・心理・新聞記事		
		2	②The 55-Year race					
		3	③Chew and Chew Some More					
	5	4	④Online Word-of-Mouth					
		5	⑤After the Flowers					
		6	⑥India's Incredible Industry					
	6	7	⑦World Weather					
		8	⑧Alfred Nobel: A Person of Peace					
		9	⑨Great Migrations					
	7	10	⑩Art on Display					
		11	⑪Thinking Outside the Box					
		12	⑫She Sells Seashells by the Seashore					
2 学期	9	13	⑬Rude Japanese?					
		14						
		15						
	10	16	⑭Bottled Water? No Water?					
		17						
		18						
	11	19	⑮Manners Still Matter					
		20						
		21						
	12	22	⑯Creating Your Own Luck					
		23						
		24						
3 学期	1	25	⑰Left in Space					
		26						
		27	進路状況に応じた個別対応					
	2	28						
		29						
		30						
	3	31						
		32						
		33						
		34						
		35						

履修者へのメッセージ Message for Students

皆さんにとって、名古屋国際で英語を学ぶ最後の1年となりました。英語は皆さんがグローバル・リーダーとして世の中を切り拓いていくツールです。道具としての英語は、持っているだけではその価値を十分には発揮できません。英語を用いてどう自分の未来を創り、人々を助け、社会に貢献するのかを常に意識しましょう。本授業では、大学入試に備えて多くの英文に触れます。大切なのは、英語を理解できるだけでなく、その物語が持つ中身を理解し、自分の意見を持つことです。

教科 Subject	外国語		科目 Course	英語演習	学年 Grade	6	単位数 Credits	2			
教科書 Textbook	改訂版アップリフト英語長文読解入試演習1 (Z会)			副教材Additional Text /materials	総合英語FOREST (桐原書店)						
科目の目標 Course Objectives			入試に対応できる長文読解力を持つことができる。								
評価の基準 Assessment Standards			定期試験70%、単語テスト・小テスト10%、平常点(態度・提出物等)20%で評価する								
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~					
1 学期	4	1	1 生活・人間関係(鶴見大学)			物語の登場人物の気持ちを考えながら、文章を読むことができる。					
		2	2 生活・人間関係(慶応義塾大学)								
		3	3 地球環境(法政大学)								
	5	4	4 地球環境(成城大学)			入試の頻出のテーマである地球環境問題について知識を得ながら文章を読むことができる。					
		5	5 文化・人間(小樽商科大学)								
	6	7	6	6 文化・人間(大阪経済大学)			様々な国や地域に根付いている分が・歴史について理解しながら文章を読むことができる。				
			7	7 文化・人間(防衛大学校)							
8		8 自然・科学(岩手医科大学)									
9		9 自然・科学(広島工業大学)									
10	9 自然・科学(広島工業大学)			私たちが取り巻くさまざまな現象についての研究結果を理解しながら文章を読むことができる。							
2 学期	9	13	10 言語・コミュニケーション(愛媛大学)				言語の仕組みや習得の課程、世界の言語の多様性や、複数言語を操る能力、公用語としての英語などについて分析する英文を読解することができる。				
		14	11 言語・コミュニケーション(日本大学)								
		15	12 言語・コミュニケーション(近畿大学)								
	10	16	13 情報・科学技術(摂南大学)				新しい技術とその可能性を紹介するものや、情報化社会における問題点を提示する英文を読解することができる。				
		17	14 情報・科学技術(学習院大学)								
11	21	18	15 社会・経済(東京理科大学)				社会問題や経済の問題など、現在社会の抱える問題の一部を分析するものや解決への糸口を示す英文を読解することができる。				
		19	16 社会・経済(明治学院大学)								
		20	17 社会・経済(国士舘大学)								
	22	18 医療・健康(札幌学院大学)									
	23	19 医療・健康(北海道薬科大学)									
12	24	20 医療・健康(金沢医科大学)					体の健康、心の健康、医療分野の先端技術についての英文を読解することができる。				
	25										
3 学期	1	27									
		28									
		29									
	2	30									
		31									
		32									
	3	33									
		34									
		35									

履修者へのメッセージ Message for Students

高校英語の最後の1年間になりました。入試に向けて、勉強に励みましょう。英語演習は、入試に対応できるような長文読解力を身につけるために授業です。段落ごとの流れをざっくりつかんだり、問題を把握した上でその答えとなる部分を探しながら長文を読むことができる能力を高めましょう。

教科 Subject	外国語		科目 Course	英語活用	学年 Grade	6	単位数 Credits	1
教科書 Textbook	○スクランブル英文法・語法 Basic (旺文社) ●新ユメタン1 (アルク)			副教材Additional Text /materials	総合英語FOREST (桐原書店)			
科目の目標 Course Objectives			大学受験に必要な英文法と単語の定着を図る					
評価の基準 Assessment Standards			毎回の小テスト (英文法及び単語) の蓄積80%、平常点20%で評価する					
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~		
1 学期	4	1	○ No.1-26			動詞・文型①	各文法項目について運用方法を理解し、 入試問題にも対応できる。	
		2	○ No.27-50	● Unit1	動詞・文型②			
		3	○ No.51-90	● Unit2	時制/受動態			
	5	4	○ No.91-118	● Unit3	助動詞			
		5	○ No.119-142	● Unit4	不定詞			
		6	○ No.143-186	● Unit5	動名詞/分詞			
	6	7	○ No.187-208	● Unit6	仮定法			
		8	○ No.209-257①	● Unit7	名詞・冠詞/代名詞①			
		9	○ No.209-257②	● Unit8	名詞・冠詞/代名詞②			
	7	10	○ No.258-286	● Unit9	関係詞			
		11	○ No.287-316	● Unit10	形容詞・副詞			
		12	○ No.317-352		比較			
2 学期	9	13	○ No.353-375			接続詞①	各文法項目について運用方法を理解し、 入試問題にも対応できる。	
		14	○ No.376-394	● Unit1②	接続詞②			
		15	○ No.395-417	● Unit2②	前置詞			
		16	○ No.418-465	● Unit3②	疑問・否定/強調・倒置・省略			
	10	17	○ No.466-487	● Unit4②	動詞中心のイディオム①			
		18	○ No.488-510	● Unit5②	動詞中心のイディオム②			
		19	○ No.511-540	● Unit6②	動詞中心のイディオム③			
		20	○ No.541-567	● Unit7②	動詞中心のイディオム④			
	11	21	○ No.568-597	● Unit8②	動詞中心のイディオム⑤			
		22	○ No.598-629	● Unit9②	形容詞・副詞中心のイディオム			
		23	○ No.630-670	● Unit10②	名詞・前置詞の働きをするイディオム			
		24	○ No.671-680		会話表現①			
12	25	○ No.681-693		会話表現②				
	26	○ No.696-753		語彙				
3 学期	1	27						
		28						
		29						
	2	30						
		31						
		32						
	3	33						
		34						
		35						

履修者へのメッセージ Message for Students

この授業では、試験範囲の対策を日々行うことが肝心です。毎週の授業中は、文法・単語の定着度を自己確認する時間となります。家庭学習の積み重ねで成績が決まりますので覚悟をもって臨んでください。週1時間の授業に対して要する家庭学習量は決して少なくはないですが、必ず皆さんの力として定着していきます。

教科 Subject	外国語		科目 Course	模擬国連	学年 Grade	6	単位数 Credits	2												
教科書 Textbook	意見交換のための英語リーディングからスピーチへー			副教材Additional Text /materials																
科目の目標 Course Objectives			日常会話のスキルを身につけ、「批判的思考」について学習し、その発信としてのスピーチをすることができる。																	
評価の基準 Assessment Standards			定期試験50%、プレゼン発表30%、平常点（態度・提出物等）20%で評価する。																	
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~														
1 学期	4	1	科目紹介			批判的思考の定義を知ることができる。														
		2	Introduction: What is Critical Thinking?			「犬は猫より頭が良い」について論理的に意見を述べて、まとめることができる。														
		3	Unit 1: Cosmetic Surgery																	
	4	中間試験																		
	5				Unit 2: English as In-House Language															
	6	7	Unit 3: Ladies First			「社内英語公用語化」について論理的に意見を述べて、まとめることができる。 「レディファースト」について論理的に意見を述べて、まとめることができる。														
		8																		
		9																		
	7	10	プレゼンテーション準備			「オリンピックと経済成長」について論理的に意見を述べて、まとめることができる。 「国際結婚」について論理的に意見を述べて、まとめることができる。 「遺伝子操作食品」について論理的に意見を述べて、まとめることができる。 「スマホ中毒」について論理的に意見を述べて、まとめることができる。 模擬国連について振り返り、社会的課題について議論することができる。														
		11	プレゼンテーション発表																	
		12	期末試験																	
	2 学期	9	13	Unit 4: Are the Olympics Business?			「オリンピックと経済成長」について論理的に意見を述べて、まとめることができる。 「国際結婚」について論理的に意見を述べて、まとめることができる。													
14			Unit 5: International Marriage																	
15																				
16																				
10		17	Unit 6: Is GM Food Safe?			「遺伝子操作食品」について論理的に意見を述べて、まとめることができる。 「スマホ中毒」について論理的に意見を述べて、まとめることができる。 模擬国連について振り返り、社会的課題について議論することができる。														
		18	中間試験																	
		19																		
		20	Unit 7: Social Network Addiction																	
11		21	What is Model UN?			「スマホ中毒」について論理的に意見を述べて、まとめることができる。 模擬国連について振り返り、社会的課題について議論することができる。														
		22																		
		23	プレゼンテーション準備																	
		24																		
12	25	プレゼンテーション発表																		
	26	期末試験																		
3 学期	1	27																		
		28																		
		29																		
	2	30																		
		31																		
		32																		
	3	33																		
		34																		
		35																		

履修者へのメッセージ Message for Students

この授業では、興味のある話題について英語を使って学んでいきます。さまざまなテーマを取り上げて、自らの意見や考えを論理的にせつめいする思考を求められます。授業ではグループディスカッションやプレゼンテーションなども実施する予定です。